

学習内容報告書

学校名	小浜市立内外海小学校
授業者	須賀原 美結子

1. 単元計画

1-1. 単元名

若狭の牡蠣のみりよくを伝えよう

1-2. 学年

3年生

1-3. 教科

総合的な学習の時間、社会科

1-4. 単元の概要

地域の特産である「養殖牡蠣」の仕事について調べたり、牡蠣の殻の再利用について考えたりすることで、地域の魅力に気づき、伝えたり、自分たちの生活や地域のために行動しようとする態度の育成を旨とする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

3年生では、「内外海の宝ももっとつながろう」ふるさと学習のテーマとして、地域の成り立ちや食べ物(梅、塩、牡蠣)を中心に調べてきた。社会科では、「農家の仕事」「くらしを守る仕事」など、仕事に着目する学習をしてきた。そこで、総合的な学習でも、社会科の見方・考え方を生かして「地域の特色を生かした仕事」に関する学習を進めたいと考えた。

また、初めての総合的な学習の時間、社会科で、内外海の宝について問いをもち、調べ、体験し、まとめ、伝えるという一連の活動を通して、学びのサイクルを身につけ、自分のよさや成長に気づくことや、ふるさとの宝について知ったことを、自分たちの生活やお世話になった人のために活用しようとする態度をはぐくむことをねらいとして単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

ふるさとに関わる問いをもち、課題を設定する力

習得したことを比べたり関連づけたりして、共通する部分を見つける力

学んだことをもとにして、よりよい社会を旨として自分にできることを考える力

1-7. 単元の展開 (全 31 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	<p>学習テーマと学習計画の設定 「ふるさとの食の宝を集めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族へのインタビュー ・各地区の特産物や伝統食を地図にまとめる。 ・これまでの学習や生活経験をもとに、知っていること、知りたいことを共有し、学習計画を立てる。 	<p>児童の家族</p>
9	<p>「若狭の牡蠣について知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牡蠣養殖の仕事、栄養、食べ方、生態について、班に分かれて調べる。 ・ゲストティーチャーのお話を聞く。 	<p>養殖牡蠣に関する新聞記事や写真 牡蠣養殖をしている地域の方のお話</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことに関して、班に分かれてまとめる。(スライド、新聞) ・発表する。 	
3	<p>「牡蠣養殖の仕事のくふうを見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖牡蠣の作業場見学 ・見学のふり返し 	<p>牡蠣養殖をしている地域の方</p>
7	<p>「牡蠣殻を生かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牡蠣殻を使ってできることの調査 ・牡蠣殻を砕いての肥料づくり 	<p>牡蠣殻を活用した取り組みのホームページや動画 牡蠣養殖をしている地域の方</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 31 時間中の 22～24 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ 養殖場を見学したり、お話を聞いたりすることで、牡蠣養殖の仕事の工夫や働く人の思いを知る。
- ・ 内外海の自然の豊かさに気づき、大切にしようとする心情を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○牡蠣養殖の仕事をされている大橋さんから、作業の様子や、出荷までの流れについてお話を聞く。</p> <p>○実際の作業の様子を見せていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「脱貝機」でロープから牡蠣を外す様子 ・ 手作業で牡蠣の殻を剥く様子 ・ 「粉碎機」で牡蠣殻を粉碎する様子 <p>○質問や感想を言う。</p> <p>○学習をふり返っての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牡蠣養殖の仕事の工夫や働く人の思いに気づくことができている。 ・ 山と海のつながりを知り、美しい海や山を守ろうとする気持ちを高めている。 <p style="text-align: center;">（発言内容・感想）</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;">    </div>
<p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは、袋にふたをするのはどうしたらいいのかと疑問に思った。でも、シーラという機械を使ってふたを閉じることを知った。人間は命をいただいているから、感謝して食べたい。 ・ 仏谷は、プランクトンが流れてきたり、波がおだやかだったりするから養殖しやすいとわかった。傷かついたカキは売ることができないのだと、とても、大変な作業だと思った。 ・ カキの仕事は全部大変ということを知って、なぜそんなにがんばれるのかと思った。今日お話を聞いて、内外海地区はとても広いことが分かった。 ・ 殻の粉碎機が、何でもこなごなにできると思った。近くの畑に牡蠣の殻がまいてあったので、実際に肥料として使われていることがわかった。 	

3. 今回の活動の自己評価

大橋さんには、12月に、ゲストティーチャーとして学校に来ていただき、牡蠣養殖の仕事や、牡蠣の食べ方、世界での食べられ方などについてお話をしていただいた。今回は、作業の様子を見せていただくことで、より具体的に海からあげてから出荷までの流れや、作業を行う上での工夫について知ることができた。子ども達は、地域の特色を生かす仕事への関心を深めることができた。

今後、殻の再利用を計画している。そのため、子ども達は、殻の粉砕機や、近くの畑にまかれた殻にも興味を持っていた。

4. 今後の課題

内外海の豊かな自然を守るために、自分にできることを具体的に考えさせていく。

牡蠣殻の再利用の計画を立てているが、ねらいを明確にしてから活動をする必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点